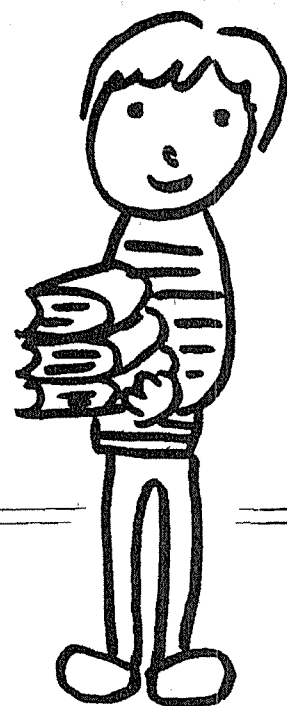


Book!
Book!
Sendai

一箱古本市

in サンモール一番町

- 2009年6月27日(土) -



出店者大募集!

『Book! Book! Sendai 2009』のイベントとして、東京の不忍ブックストリートで始まった「一箱古本市」を仙台・サンモール一番町で開催します。商店街を舞台に、本好きの人々がそれぞれに持ち寄った古本を販売する、フリーマーケット形式の古本市です。一箱分の本があれば、どなたでも気軽にご参加いただける楽しいイベントですので、是非この機会にあなたも「古本屋さん」になってみませんか?

募集要項

Book! Book! Sendai 一箱古本市 in サンモール一番町

【主催】杜の都を本の都にする会

【日時】6月27日(土) 11:00~17:00

【会場】サンモール一番町商店街

【参加費】1,500円

【出品のルール】一箱は概ねミカン箱程度(3辺の合計が120cm以内)のものとし、基本的に自分の古本を販売していただきます。補充分を用意して、箱に追加するのはOKです。また、イベントに適切ではない出品がある場合は、スタッフの判断により、当日撤収していただく場合がございます。

【参加資格】販売は各自の責任で行っていただきますので、当日会場にて店番のできる方。(複数での参加による交代制も可) 18歳未満の方は保護者同伴のこと。

【募集期間】4月11日~5月20日 スペースが埋まり次第、受付終了となります。

【応募方法】メールにて下記の項目をご記入の上お申し込みください。

①お名前(複数で参加される方は代表者) ②屋号(必ず付けてください) ③住所 ④メールアドレス

⑤電話番号 ⑥自己PR(プロフィールや品揃えの特徴など、自己PRを100文字以内でお書きください)

*お送りいただいたデータは会で管理し②、⑥以外の項目は外部への公表はございません。

【メール宛先】info@bookbooksendai.com

応募メールが届きましたら、会から参加費の振込み先のご案内のメールをお送りしますので、参加費のお振込をお願いします(振込み手数料は出店者負担)。入金を確認いたしましたら、古本市のエントリー完了です。尚、エントリー完了後、出店をキャンセルされてもご返金はできませんので、ご了承ください。





6月の仙台 は 本の月

Book! Book! Sendai 2009

2009年6月の1ヶ月にわたって、本を語る、学ぶ、作る、演じるなどのイベントを開催します。本を通じた楽しさと賑わいで、仙台の街を彩ります。
こちらで紹介した企画のほか、本に関わりのある、書店、飲食店、文化施設、出版物などによる、それぞれのスタイルでの参加もあります。詳細はwebや5月発行予定のパンフレットでご確認ください。



一箱古本市

6月27日(土) 11:00-17:00

in サンモール一番町商店街

and ブック・ブック・カフェ

「一箱古本市」は、東京の不忍ブックストリートから始まり、全国各地で行われている路上古本市。それぞれが一箱の古本屋の店主になって、看板をつけて店開き。自分の蔵書に値段をつけて、次の読者へ手渡します。今回のサンモール一番町では、テーブルと椅子をご用意し、自由に談話、読書を楽しむ場所として「ブック・ブック・カフェ」の開設も致します。

《参加料》「一箱古本市」出店料1,500円

(要事前申し込み)



「折り本をつくる」製本講座

《日時》6月12日(金) 19:00 - 21:00

《会場》せんだいメディアテーク 2F会議室

折り本とは、蛇腹状に折りたたんだ本のこと。講師はブックデザイナー・岡田とも子さん。岡田さんは、アトリエ「葉(よう)」を主宰し、オーダーメイドの本作りや、出版社から本の装幀・レイアウトを請け負うなど、幅広く活躍。手工製本家・山崎曜さんのもとの製本技術を学ぶ。

材料、道具はすべてご用意いたしますので、初心者の方も安心して学べます。

《参加料》3,500円(材料費含む・要事前申し込み)

太宰治生誕100周年記念 一人語りとピアノ「きりぎりす」*

《日時》6月25日(木) 19:30 - 20:30

《会場》市民活動シアター(「仙台市市民活動サポートセンター」地下)

太宰治・作「きりぎりす」「お別れいたします」という女性の告白ではじまる太宰治中期の名作短篇。全編セリフのみで書かれ、太宰文学の魅力が際立っている。俳優とピアノ演奏家のコラボレーションによって小説世界を舞台に再現します。[出演]白鳥英一/演劇ユニットOttoOpresents(おととぶれぜんつ)代表。俳優、劇作家、演出家。1989年、劇団1.0150入団。2000年にOttoOpresents旗揚げ。太白区民手づくり演劇の作・演出、アドバイザーを2年続けてつとめる。2008年社の都の演劇祭では井上ひさし原作「父と暮せば」演出し、好評を博し仙台市図書館でアンコール上演された。澁谷浩次/作曲家、演奏家。1998年yumbo結成。以来、全国各地で数々のライブを行いアルバムを発表している。結成10年の2008年に「ontonsen」レーベルよりアンソロジー盤「甘い塊」をリリース。音楽雑誌などで高い評価を得ている。

《入場料》2,000円(要事前申し込み) 定員80名

いがらしみきお×塩山芳明トークイベント

「漫画家VS編集者 出版業界最底辺を語る」*

《日時》6月26日(金) 19:00 - 20:30

《会場》市民活動シアター(「仙台市市民活動サポートセンター」地下)

いがらしみきお(漫画家)と塩山芳明(漫画編集者)によるトークショー。司会は南陀楼綾奈(編集者/ライター)。出版業界の最底辺を支えてきた編集者・塩山芳明の最新刊『出版奈落の断末魔』(アストラ)の刊行を記念して、塩山編集の漫画誌から華麗に転身した漫画家・いがらしみきお(仙台在住)が、当時を振り返る。毒舌で知られる塩山さんはいがらしさんと旧知の間柄、よそでは聞けない貴重な話題、爆弾発言が連発!?するかも。

《参加料》2,000円(要事前申し込み) 定員100名

古本緑日 in 仙台 ～「わめぞ」の古本・雑貨市～

《日時》6月20日(土)・21日(日)

《会場》

book cafe 火星の庭 6/20 11:00-20:00 6/21 11:00-17:00

書本&cafe マゼラン 6/20 10:00-19:00 6/21 11:00-17:00

わめぞは、早稲田・目白・雑司が谷にて「本に関係する仕事」をしている人間の集まり。各地域の頭文字から「わめぞ」。

「外市」月の湯古本まつり「みちくさ市」と新しいスタイルの古本市を精力的に開催、大人気を呼んでいる。古本あり雑貨ありの古本緑日が東京から大移動。仙台のブックカフェに初登場!

《参加料》入場無料

小さなブックデザイン展

《日時》6月1日(月)～15日(月) 11:00 - 20:00

(日曜は19:00まで) ※火・水は定休

《会場》book cafe 火星の庭

製本家・岡田とも子さんのコレクションを中心に美しい本、凝った装幀の本、手製本を展示します。

《参加料》入場無料



古本屋起業講座

《日時》6月12日(金) 15:00 - 17:00

《会場》せんだいメディアテーク 2F会議室

古本屋を起業するための入門講座。講師は昭文堂書店・斎藤鄭(あつし)。昭文堂書店は一番町一丁目に明治33年創業。5代目店主斎藤さんは、宮城県古書籍商組合の理事長を長年つとめている。仙台の古本の変遷について新聞雑誌等での取材を受けたり、大学で古書籍商の講義をするなどの機会も多い。当講座では、仙台で古本屋の店舗営業をするためにはどうしたらいいか、入門的な講義を行う。

《参加料》2,000円(要事前申し込み)

「仙台本の博覧会 センダイボンパク」*

《日時》6月25日(木) 15:00 - 18:00

《会場》市民活動シアター(「仙台市市民活動サポートセンター」地下)

☆展 示 仙台ゆかりの本を集めて、仙台本の博覧会をひらきます。江戸時代、仙台は全国屈指の出版都市でした。往時を記す出版物も多数展示します。

★第一部「仙台出版むかし語り」15:00 - 16:30

仙台の出版文化に詳しい早坂信子さん(元宮城県図書館員)と、『仙臺文化』渡邊慎也さんに展示資料の解説をはさみながら、仙台の出版の黄金時代を語っていただきます。

★第二部「いま、仙台で本をつくる」16:45 - 18:00

地方での本づくりの楽しさ、難しさ、想いや願い、様々な舞台裏を現在、本という形で仙台を伝えている出版社の方々に語っていただくトーク。(出演者は決定次第web等でお知らせします)

コーディネーターは大泉浩一(編集者・ライター)。

《参加料》入場無料(予約不要)

「私のブックカフェをつくろう」ブック・カフェ講座*

《日時》6月26日(金) 16:00 - 18:00

《会場》市民活動シアター(「仙台市市民活動サポートセンター」地下)

「貸本喫茶ちようちよぼっこ」と「book cafe火星の庭」のつくり方を紹介。全国の「本とカフェ」のあるお店をスライドで見ながら、参加者が「わたしのブックカフェ」を構想します。「こんなブックカフェがあったらいいな」「こんなブックカフェをやりたいな」というアイデアを形にしてみましょう。ナビゲーターは大阪「貸本喫茶ちようちよぼっこ」福島杏子、仙台「book cafe 火星の庭」店主の前野久美子。

《参加料》2,000円(要事前申し込み)



「小冊子と紙モノたち」

《日時》6月3日(水)～6日(土) 19(金)～27日(土) 14:00 - 20:00

※日・月・火は定休

《会場》stock gallery & atelier

仙台の小冊子「ふきながし」のメンバー、stockが選んだお気に入りの小冊子と便箋や封筒など紙モノを展示販売いたします。

同時開催：武藤良子原画展「みんな夢の中」

《日時》6月18日(木)～7月6日(月)

11:00 - 20:00 (日曜は19:00まで) ※火・水は定休

《会場》book cafe 火星の庭

武藤良子(むとうりょうこ)/「わめぞ」メンバー。1971年東京生まれ。イラストレーター。装丁、挿画を中心に活躍中。
《参加料》1オーダー